

国営ひたち海浜公園内の観覧車の運行を再開します。

記者発表資料

国営ひたち海浜公園内の観覧車について、昨年12月20日に部材の破断が発見され、その後、それに伴う部材の補修及び安全点検のため運行を休止していたところですが、このたび、最終の安全点検が終わりましたことから、明日3月29日（土）より運行を再開します。

今後は、これまで以上の安全対策を講じ、お客様に愛される施設として万全の体制で管理運営にのぞんでいきます。

今後とも、国営ひたち海浜公園の運営につきまして、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成20年3月28日



国営 ひたち海浜公園
Hitachi Seaside Park

● 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所

記者発表クラブ	
茨城県政記者クラブ	
問い合わせ先	
●内容について	国土交通省 関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所 工務課長 菊地 一美 電話029-265-9412~3
●ホームページ	http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin

「国営ひたち海浜公園内観覧車」部材破断の原因及び今後の安全対策について

1. 運転休止に至った経緯について

平成19年12月20日(木)午後12時頃、観覧車をご利用のお客様のご指摘に基づいて確認したところ、11番ゴンドラ付近の部材(回転輪ななめつなぎ材)の1本が破断していることが確認されました。

この部材は補助構造材であり、この部材の破断により、ゴンドラ及び観覧車全体の安全性が大きく低下するようないとは想定していたところですが、人命を預かる施設であることから、部材の破断を確認後、ただちに運転を停止し、部材が破断した原因が判明し、観覧車全体の安全が確認されるまで運転を取りやめていました。

2. 部材破断の原因について

破断した部材「回転輪ななめつなぎ材」は、ゴンドラを支える部材のたわみを押さえる補助構造部材です。部材の両端に、はご板状のとりつけ部(以下、「あて板」)がついており、そのあて板が破断しました。

あて板での錆の発生により、部材の厚みが減少し、あて板にかかる力に耐えられなくなり破断したものです。



(参考写真) 破断した「あて板」

3. 安全対策の実施について

国営ひたち海浜公園では以下のとおり安全対策を強化し、再発防止を図ることとしました。

- 1) 破断した部材と同型の部材すべてについて、あて板の厚みを増した新品の部材に交換しました。
- 2) 塗膜のひび割れによる錆を早期に発見するため、下記対策を行うこととしました。
 - (ア) 細かな塗膜のひび割れを確認するための点検バスケットを設置(設置済)
 - (イ) 錆に関する点検間隔を短縮(3ヵ月毎→1ヶ月毎)
 - (ウ) 補修基準の明確化・厳格化

なお、交換に併せて観覧車の全部材を点検いたしましたが、不具合等は発見されませんでした。



■ 主要諸元

全 高：65m（最高到達地点 海拔100m）

所要時間：約12分

乗物数：40台（6人乗り）

定 員：240人

運行開始：平成3年度